

## 水道事業ガイドラインに基づく業務指標（工業用水道事業）

### 安全で良質な水

分類	区分	番号	PI名	H27 PI値	H28 PI値	H29 PI値	H30 PI値	単位	計算式
運営管理	施設管理	A203	配水池清掃実施率	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)	(5年間に清掃した配水池有効容量 / 配水池有効容量) × 100

### 安定した水の供給

分類	区分	番号	PI名	H27 PI値	H28 PI値	H29 PI値	H30 PI値	単位	計算式
運営管理	施設管理	B101	自己保有水源率	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)	(自己保有水源水量/全水源水量)×100
		B102	取水量1m <sup>3</sup> 当たり水源保全投資額	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	(円/m <sup>3</sup> )	水源保全に投資した費用/年間取水量
		B103	地下水率	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)	(地下水揚水量 / 年間取水量)×100
		B104	施設利用率	34.8	35.3	35.9	37.2	(%)	(一日平均配水量/施設能力)×100
		B105	最大稼働率	41.5	42.2	43.3	47.3	(%)	(一日最大配水量/施設能力)×100
		B106	負荷率	83.7	83.8	82.8	78.7	(%)	(一日平均配水量/一日最大配水量)×100
		B108	管路点検率	100.0	100.0	100.0	100.0	(%)	(点検した管路延長 / 管路延長) × 100
		B109	バルブ点検率	14.7	0.0	0.0	0.0	(%)	(点検したバルブ数 / バルブ設置数) × 100
		B111	有効率	98.5	98.5	99.2	99.8	(%)	(年間有効水量 / 年間配水量) × 100
		B112	有収率	98.5	98.5	99.2	99.8	(%)	(年間有収水量/年間配水量)×100
		B113	配水池貯留能力	0.30	0.30	0.29	0.28	(日)	配水池有効容量/一日平均配水量
		B117	設備点検実施率	46.5	43.6	43.2	43.2	(%)	(点検機器数/ 機械・電気・計装機器の合計数) × 100
	事故災害対策	B201	浄水場事故割合	1.50	2.00	2.00	3.00	(件/10年・箇所)	10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場数
		B204	管路の事故割合	10.3	7.0	8.1	1.2	(件/100 km)	管路の事故件数 / (管路延長/100)
		B205	基幹管路の事故割合	10.3	7.0	8.1	1.2	(件/100 km)	基幹管路の事故件数 / (基幹管路延長/100)
		B206	鉄製管路の事故割合	10.5	7.2	8.3	1.2	(件/100 km)	鉄製管路の事故件数 / (鉄製管路延長/100)
		B210	災害対策訓練実施回数	1	1	1	1	(回/年)	年間の災害対策訓練実施回数
	環境対策	B301	配水量1m <sup>3</sup> 当たり電力消費量	0.26	0.26	0.25	0.25	(kWh/m <sup>3</sup> )	電力使用量の合計 / 年間配水量
		B302	配水量1m <sup>3</sup> 当たり消費エネルギー	2.58	2.60	2.54	2.51	(MJ/m <sup>3</sup> )	エネルギー消費量 / 年間配水量
		B303	配水量1m <sup>3</sup> 当たり二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) 排出量	132	122	122	114	(g・CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> )	[二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) 排出量 / 年間配水量] × 10 <sup>6</sup>
		B304	再生可能エネルギー利用率	0.000	0.000	0.000	0.000	(%)	(再生可能エネルギー設備の電力使用量 / 全施設の電力使用量) × 100
		B305	浄水発生土の有効利用率	4.0	47.3	35.1	100.0	(%)	(有効利用土量 / 浄水発生土量) × 100
		B306	建設副産物のリサイクル率	100.0	100.0	100.0	100.0	(%)	(リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100

安定した水の供給

分類	区分	番号	PI名	H27 PI値	H28 PI値	H29 PI値	H30 PI値	単位	計算式
施設整備	施設管理	B401	ダクトイル鋳鉄管・鋼管率	97.8	97.8	97.8	97.8	(%)	$[(ダクトイル鋳鉄管延長 + 鋼管延長) / 管路延長] \times 100$
		B402	管路の新設率	0.00	0.00	0.00	0.00	(%)	$(新設管路延長 / 管路延長) \times 100$
	施設更新	B501	法定耐用年数超過浄水施設率	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)	$(法定耐用年数を超過している浄水施設能力 / 全浄水施設能力) \times 100$
		B502	法定耐用年数超過設備率	27.8	28.6	28.6	32.2	(%)	$(法定耐用年数を超過している機械・電気・計装設備などの合計数 / 機械・電気・計装設備などの合計数) \times 100$
		B503	法定耐用年数超過管路率	55.4	54.5	53.9	53.6	(%)	$(法定耐用年数を超過している管路延長 / 管路延長) \times 100$
		B504	管路の更新率	0.80	0.12	0.81	0.35	(%)	$(更新された管路延長 / 管路延長) \times 100$
		B505	管路の更生率	0.000	0.000	0.000	0.000	(%)	$(更生された管路延長 / 管路延長) \times 100$
	事故災害対策	B602	浄水施設の耐震化率	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)	$(耐震対策の施された浄水施設能力 / 全浄水施設能力) \times 100$
		B603	ポンプ所の耐震化率	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)	$(耐震対策の施されたポンプ所能力 / 耐震化対象ポンプ所能力) \times 100$
		B604	配水池の耐震化率	100.0	100.0	100.0	100.0	(%)	$(耐震対策の施された配水池有効容量 / 配水池等有効容量) \times 100$
		B605	管路の耐震管率	60.9	62.2	62.5	63.0	(%)	$(耐震管延長 / 管路延長) \times 100$
		B606	基幹管路の耐震管率	60.9	62.2	62.5	63.0	(%)	$(基幹管路のうち耐震管延長 / 基幹管路延長) \times 100$
		B606-2	基幹管路の耐震適合率	60.9	62.2	62.5	63.0	(%)	$(基幹管路のうち耐震適合性のある管路延長 / 基幹管路延長) \times 100$
		B609	薬品備蓄日数	23.0	62.8	74.1	63.4	(日)	$(平均凝集剤貯蔵量 / 凝集剤一日平均使用量)$ 又は $(平均塩素剤貯蔵量 / 塩素剤一日平均使用量)$ のうち、小さい方の値
B610	燃料備蓄日数	0.0	0.0	0.0	0.0	(日)	平均燃料貯蔵量 / 一日燃料使用量		

健全な事業経営

分類	区分	番号	PI名	H27 PI値	H28 PI値	H29 PI値	H30 PI値	単位	計算式
財務	健全経営	C101	営業収支比率	110.6	102.6	112.9	107.1	(%)	$[(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / (\text{営業費用} - \text{受託工事費})] \times 100$
		C102	経常収支比率	121.0	116.4	123.7	116.9	(%)	$[(\text{営業収益} + \text{営業外収益}) / (\text{営業費用} + \text{営業外費用})] \times 100$
		C103	総収支比率	135.1	129.6	138.3	126.1	(%)	$(\text{総収益} / \text{総費用}) \times 100$
		C104	累積欠損金比率	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)	$[\text{累積欠損金} / (\text{営業収益} - \text{受託工事収益})] \times 100$
		C105	繰入金比率 (収益的収入分)	0.1	0.1	0.1	0.1	(%)	$(\text{損益勘定繰入金} / \text{収益的収入}) \times 100$
		C106	繰入金比率 (資本的収入分)	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)	$(\text{資本勘定繰入金} / \text{資本的収入計}) \times 100$
		C107	職員一人当たり給水収益	49,042	45,290	45,054	42,740	(千円/人)	給水収益/損益勘定所属職員数
		C108	給水収益に対する職員給与費の割合	19.4	21.3	19.7	20.2	(%)	$(\text{職員給与費} / \text{給水収益}) \times 100$
		C109	給水収益に対する企業債利息の割合	0.2	0.1	0.0	0.0	(%)	$(\text{企業債利息} / \text{給水収益}) \times 100$
		C110	給水収益に対する減価償却費の割合	37.8	36.1	36.0	38.0	(%)	$(\text{減価償却費} / \text{給水収益}) \times 100$
		C111	給水収益に対する建設改良のための企業債償還元金の割合	3.4	3.1	0.4	0.0	(%)	$(\text{建設改良のための企業債償還元金} / \text{給水収益}) \times 100$
		C112	給水収益に対する企業債残高の割合	3.5	0.4	0.0	0.0	(%)	$(\text{企業債残高} / \text{給水収益}) \times 100$
		C113	料金回収率	122.6	112.1	125.6	118.1	(%)	$(\text{供給単価} / \text{給水原価}) \times 100$
		C114	供給単価	57.6	56.6	55.1	48.2	(円/m <sup>3</sup> )	給水収益/年間有収水量
		C115	給水原価	47.0	50.5	43.9	40.8	(円/m <sup>3</sup> )	$[\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不要品売却原価} + \text{附帯事業費} + \text{長期前受金戻入})] / \text{年間有収水量}$
		C118	流動比率	1909.6	1895.7	3451.9	2193.3	(%)	$(\text{流動資産} / \text{流動負債}) \times 100$
		C119	自己資本構成比率	85.6	86.4	88.2	88.7	(%)	$[(\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}) / \text{負債} \cdot \text{資本合計}] \times 100$
		C120	固定比率	72.4	68.8	64.4	61.1	(%)	$[\text{固定資産} / (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額} + \text{繰延収益})] \times 100$
C121	企業債償還元金対減価償却費比率	9.1	8.6	1.0	0.0	(%)	$(\text{建設改良のための企業債償還元金} / \text{当年度減価償却費}) \times 100$		
C122	固定資産回転率	0.13	0.13	0.13	0.13	(回)	$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / [(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2]$		
C123	固定資産使用効率	22.7	23.4	24.3	25.7	(m <sup>3</sup> /万円)	年間配水量/有形固定資産		
組織・人材	人材育成	C201	水道技術に関する資格取得度	1.30	1.39	1.37	1.26	(件/人)	職員が取得している水道技術に関する資格数 / 全職員数
		C202	外部研修時間	9.6	20.9	12.7	7.6	(時間/人)	$(\text{職員が外部研修を受けた時間} \times \text{受講人数}) / \text{全職員数}$
		C203	内部研修時間	5.0	4.1	8.9	5.6	(時間/人)	$(\text{職員が内部研修を受けた時間} \times \text{受講人数}) / \text{全職員数}$
		C204	技術職員率	85.2	85.7	85.2	85.2	(%)	$(\text{技術職員数} / \text{全職員数}) \times 100$
		C205	水道業務平均経験年数	9.6	8.9	10.4	10.8	(年/人)	職員の水道業務経験年数 / 全職員数
		C206	国際協力派遣者数	0	0	0	0	(人・日)	$\Sigma (\text{国際協力派遣者数} \times \text{滞在日数})$
		C207	国際協力受入者数	0	0	0	0	(人・日)	$\Sigma (\text{国際協力受入者数} \times \text{滞在日数})$
	業務委託	C302	浄水場第三者委託率	0.0	0.0	0.0	0.0	(%)	$(\text{第三者委託した浄水場の浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力}) \times 100$